

の進捗を図り、予算の平準化に努めてまいります。

細田まさのり議員より 第一地区の進捗状況は81%ということだが事業終盤に向け今後の事業計画はどのようになるのか。また、今後の事業展開をどのように描いているのか伺います。

都市整備部長より 第一地区の事業計画につきましては、施行期間が令和5年度となっているところを令和15年度まで延長して事業完了を目指します。今後につきましては、北戸田駅前交通広場や都市計画道路の整備などを計画的に進めてまいります。

細田まさのり議員より どのような理由で延長するのですか？ 本当に令和15年度までに事業が完了するのか、また延長では地権者の方々は怒りますよ。いつになったら終わるのですかと声があります。しっかりと地権者の方々にに対してなぜどうして延長するのか説明をして頂きたいと思えます。要望といたします。

地権者に寄り添って事業を進めると、地権者で構成される土地区画審議会ではどのような意見があるのかお伺いします。

都市整備部長より 審議会からは事業が長期化しているため、早期完了を強く望む声がございます。

細田まさのり議員より 地権者の代表である審議会のご意見で事業を早期に完了して欲しいと強く望まれていると、この意見を市長は施行者代表としてどのように捉えているのか、また、第一地区の事業が終盤となっていることや地権者の代表である審議会からの早期完了を望む

ご意見、時間の経過による事務所の老朽化、ここまで進捗に遅れを及ぼしたことは事実であります。出先機関単独の運営だけでしっかりと進捗管理するには限界があるように思います。これから早期事業完了を向け他部局との連携をスピード感をもって業務を遂行するには土地区画整理事務所の機能を本庁に移転する時期がきているように感じますが、その点はどう思いますか。

戸田市長より 地権者の代表である審議会からの意見につきましては、真摯に捉え、事業の効率化を図る方策を検討し早期完了を目指してまいります。早期完了を実現する取組の一つとして、土地区画整理事務所の本庁舎移転の準備を進めてまいります。

細田まさのり議員より 要望提言

地権者の方々は将来への戸田市の発展のために様々な思いをして土地の減歩などをして同意したわけです。そして、その地権者の代表である審議会でも会議が開かれる度に早期完了を強く望んでいます。そのようなお声を真摯に受け止め速やかに土地区画整理事業を完了するためには、今まで以上に事務所の監視体制機能の強化並びに関係部局との連携が必要であると思えます。また具体的にどこまで進んでいるのか誰でも分かる可視化をするなど、より透明性も重要な点だと思います。さらには本庁舎に土地区画整理事務所があれば常任委員会審査も出先機関でないことから日程調整等をせず即審議が行われるなどメリットは多々あるかと思えますので、土地区画整理事務所を本庁舎への移転を強く要望します。

駅前行政センターについて



細田まさのり議員より 戸田公園駅前行政センターが設置されたのは平成22年6月30日に設置し条例が施行されました。設置する目的は、市民が市役所に足を運ぶことなく通勤・通学や買い物ついでに行政サービスを利用できるようにすることを設けた建物であります。

さて、なぜ今回駅前行政センター等について質問をするのかと言いますと、それは、現在、新曽第一・第二と区画整理事業中であり、その区画整理地内に北戸田駅周辺も含まれています。その北戸田駅周辺のロータリー周辺の建造物がようやく移動することになり駅前ロータリー周辺の整備が出来るようになりました。そこで、駅前整備をする際に行政センターなどが設置出来ないかなと設置すれば新曽地区、美笹地区の方が市役所へ行かず北戸田駅にあつたら便利だろうなど。そして、駅前周辺に公共施設なども考えてよいのではないかと思ひ一般質問に至りました。それでは、駅前行政センターについて、まずは以下3点についてお伺いします。

- 1 現在の業務内容について
- 2 戸田駅及び北戸田駅周辺に市の用地等はあるか
- 3 今後、戸田駅及び北戸田駅周辺の駅前行政センターなど、多目的な公共施設を設置する計画はあるか

市民生活部長より 戸田公園駅前行政センターの1階は、住民異動の手続きやパスポートの申請交付等の窓口業務。2階は、「戸田ブランド」の販売をはじめ、観光情報を発信している。3階は、親子の交流や相談支援、乳幼児の一時預かり機能を備えた「戸田公園駅前子育て広場」となっております。

現在、戸田駅及び北戸田駅周辺には、市及び土地開発公社が所有し、未利用となっている土地が数か所ございます。

戸田駅及び北戸田駅周辺に駅前行政センターなどの多目的な公共施設を設置する計画につきましては現時点ではございません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、社会情勢や市民生活が大きく変容する中、時代やニーズに合わせた公共施設の再編を行う必要があると考えておりますことから、平成29年に策定した「戸田市公共施設等総合管理計画及び戸田市公共施設再編プラン」の見直しを行う中で、公共施設への需要をしっかりと捉えてま

いりたいと考えております。

細田まさのり議員より 市民に必要な様々な機能が備わっている戸田公園駅前行政センターですが、開庁時間やそれぞれの利用状況は推移を含めどうなっているのかお伺いします。

市民生活部長より 戸田公園駅前行政センターのうち、最も利用の多い、1階の出張所窓口は、年末年始を除く全日開所しており、利用可能時間は平日8時30分～20時、土日祝日は9時～17時30分でございます。

また、出張所の窓口利用状況につきましては、開所翌年の平成23年度25,664人でありましたところ、令和3年度には46,059人の利用があり、10年間で180%程の利用者増加でございます。

細田まさのり議員より 駅前行政センターの利用者は年々増加しているのが分かりました。また、私も利用者から夜遅くまで窓口が開いていたので助かりましたというお声を聞くことがございます。

それでは、駅前行政センターが設置されて良かった点は何ですか。お伺いします。

市民生活部長より 出張所は駅前に立地していることから、通勤・通学の前後で利用でき、手続きの待ち時間を商業施設で過ごせること、戸田市内で唯一パスポートの申請交付ができるなどの利点がございます。さらには、市役所と駅前行政センターに来庁者が分散することにより、窓口の混雑緩和を図ることができるなど良い点がございます。また、子育て世代にとって、一時預かりができ、親のための時間が確保されるという利点もございます。

細田まさのり議員より 駅前行政センターの良い点がよく分かりました。

それでは、また駅前行政センターなどを設置すると、どのようなセンターがあると良いか、まずは現状のセンターでどのようなサービスが特に利用されているかをお伺いします。

市民生活部長より 現在の戸田公園駅前行政センターで利用率が高いサービスは、出張所窓口でございます。また、3階子育て広場の利用は、感染対策のため利用数を制限している中ですが、令和3年度5,828人のご利用を頂いている状況です。

細田まさのり議員より 国政等期日前投票などにも利用

